

校長だより

未来へ「つなぐ」

令和3年度（2021年度） 9月22日

蕪城小学校 No.7

蕪城小学校 教育目標 **長子配付**

未来を生き抜く人間の育成

～進んで考え、協働して課題を解決する子の育成～

目指す児童像（社会性を育む）

- ・考える子 考え伝え、進んで学び合う子
- ・やさしい子 規律正しく思いやりのある子
- ・たくましい子 健康・安全な子

一人ひとりの「心に残る」運動会へのご協力を

日中は太陽の日差しが強い日もありますが、朝晩の涼しさと虫の鳴き声に、秋が深まりつつあるのを感じる今日この頃です。保護者の皆様におかれましても、寒暖の差も大きくなることから、引き続き新型コロナウイルス感染症予防を含め、健康管理に十分気をつけて頂きたいと思います。

さて、本校第60回運動会に際しては、本校の白山市最大の児童数や運動場の広さ等を勘案し、新型コロナウイルス感染症予防のため、今後も教育活動が安全にできるよう、ご来賓の皆様、保護者の皆様、地域の皆様にご参観を控えて頂くようお願いし、皆様にご協力をお願いしたところ、ご理解頂き誠に有り難うございます。今後も、運動会当日まで、各ご家庭で、お子様を励ましご協力をお願い致します。

子どもたちは限られた条件の中で工夫をして、毎日、準備や演技や個人走、応援の練習を行い、自分たちで持てる力や練習してきた成果を十分発揮することができるように取り組んでおり、一人ひとりの児童の「心に残る運動会」を創りあげようとしています。

6年生を中心に、赤・白組の応援、競技や各係活動の準備や練習で、制限のある中で、工夫しながら、下級生や仲間である友達への声掛け等働きかけをしっかりと行い、話し合い、工夫して「児童みんながつくりあげる」素晴らしい運動会を実施できるよう準備をしております。低・中・高学年の各団演でも、心を一つに、声や動きをそろえ、素敵な素晴らしい演技を創り上げ練習しています。

「本物は中身の濃い平凡を積み上げる」という言葉があります。日頃の何気ない毎日の平凡と考えること、例えば、時間を守る、あいさつをする、自分の身の周りの物を整理整頓する、そうじをもくもく静かに集中して行う、等を大切に日頃毎日真剣に実践することで「本物」の力がつき、成長できる、ということです。運動会の成功も日頃の学習や生活をきちんと自分なりに真剣に取り組み、その事により自信をもって行動できるようになる、また、練習を運動会当日の本番のように真剣に取り組むことで、「本物」の素晴らしい「運動会」が創り上げられることを期待しています。

ご家庭でも、引き続き、がんばっているお子様のお話を傾聴し、取組の過程を褒め、励まし、疲れて帰宅するお子様をゆっくり休ませて頂くようお願い致します。

「勝ち負けよりも大切なこと」

スポーツや大会は、優勝や勝利を目指して、競い合います。勝つことの価値が低いという意味でなく、運動会や大会等の本番までに、「どのように準備や練習に取り組んだか、真剣に練習できたか、取組方法を工夫したり、より良い方向へ改善しようと現状から分析し、次の手立てを考え実行したか」等準備や練習の段階の過程、プロセスが極めて重要です。競い合った相手チームや個人が勝負や試合の後、互いを称え合い、敵味方関係なく相手に拍手を送ることは、勝ち負けを越えた「自分や自分たちにできることをやりきったこと」「自分と同じようにやりきった相手の思いやプレーにも大きな価値を見出し、その思いを称え合うこと」です。運動会当日、児童が、自分の団や仲間を応援する拍手を送り、勝者にも敗者にも拍手を送り、素敵な演技に心からの拍手を送る、運動会になることを期待しています。



授業で、タブレットを活用した学習

